



技術移転センター教授  
山本徳司

## 誰でも簡単に使えるC&S型3次元GISで 農地基盤情報管理をはじめませんか!!

農工研では、誰でも簡単に使えるクライアント&サーバ型(C&S型)の3次元の農地基盤地理情報システム(VIMS: Village Information Management System)を開発しました。本システムは、「水土里情報活用促進事業」で整備した情報等を最大限活かし、県、市町村、小規模事務所等の個別端末でご利用頂けます。リアルタイム3次元表示(図1)で、自由な属性テーブル設定(図2)ができ、GISが有する基本的な機能(図3)は殆ど網羅しています。また、農地基盤台帳等の帳票や住民参加の計画に役立つメッシュ総合機能評価システム(図4)も準備し、導入時からすぐに利用が可能です。

近年、土地利用のあり方を住民参加で合意しながら計画を策定していく過程が増加しています。そんな中、農地基盤情報が即座に表

示・検索され、面的に評価できることは、農地や施設の整備だけでなく、集落営農計画策定や耕作放棄地対策等においても有用です。また、景観や環境にかかる計画、水利施設のストックマネジメント、エネルギー最適化、災害対策にも重要な役割を果たします。

また、本GISは、高度な数学解析機能を搭載せず、導入の妨げとなっていたコストを著しく低減しています。よって、住民への計画説明や事業管理、住民参加の資源管理活動等、末端での技術普及には最適なシステムとなっています。

このアプリケーションは、農工研と株式会社イマジックデザインの共同著作(著作権登録: 機構-Q05)です。利用実績も増加しつつあり、さまざまな運用形態に対応できますので、是非、ご相談ください。



図1 3次元表示が可能

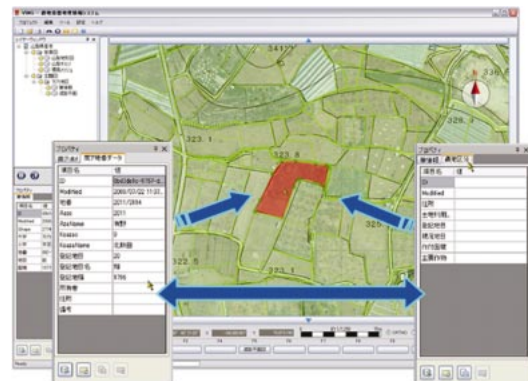


図2 地物に対するマルチリンクテーブル

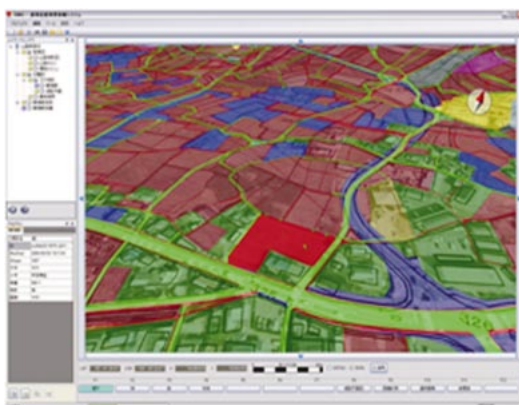


図3 地物の色分け機能(土地利用の例)

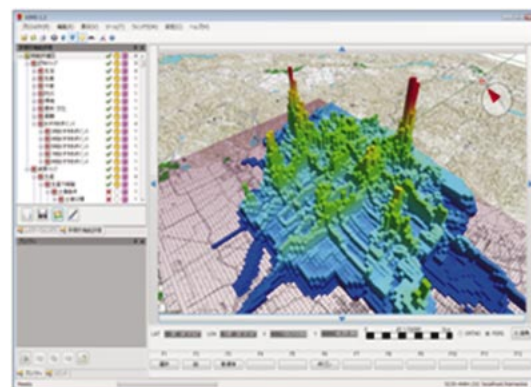


図4 メッシュ単位で土地を総合評価